



1月号
[No. 470]

二小だより

横浜市立港南台第二小学校 横浜市港南区港南台5-4-1

電話 045-831-7676 FAX 045-833-9742

年の初めに

校長 菅原 久忠

冬休み前の25日の下校時に子どもたちを見送っていると、学年の異なる何人かの子どもたちが「校長先生、よいお年を。」とあいさつして帰って行きました。4月から大切にしてきたあいさつですが、「おはよう、さようなら」だけでなく、時節にあったあいさつをする子どもたちの姿に、感心しました。

さて、今日の朝会では、詩を紹介しながら「自分や友だちのよさを見つけよう」ということを話題にしました。

『私が、小学生の頃、算数が苦手、跳び箱も走ることも苦手、漢字を覚えることも苦手だったことを以前にお話しましたね。当時、6年生で逆上がりができなかった人が二人いました。その一人は私で、もう一人は170cmの横浜市体育大会の競技で新記録を出し、その後、高校野球で甲子園によく出場する学校の投手にもなった友達です。

その友達とは、心の距離が離れてしまうことがあり気まずい日が続いていました。でも、二人で練習を重ねていたこともあり、ある日、二人ともできるようになったのです。その友達が泣きながら「一緒に練習してくれてありがとう。」と言ってきました。

そのときに、人には得意なことと苦手なことがあり、そういったことを分かり合えるとなんだかいいなって思ったのです。

新しい年を迎えたこの機会に、友達や自分が努力していることに思いをよせ、よきについて考えていきましょう。』

子どもたちの中には、自分と友達を比べて、違いや差ばかり考えてしまう子がいます。人との違いを自分のよさと考えるよりも優越感や劣等感を感じて、好き嫌いや得意不得意を決めてしまう場合もあります。また、ときには友達と比べてできないと、嫌になってあきらめてしまったりやめてしまったりする子がいます。

違いや差をお互いに受け止めて、自分の目標とすることに積極的に活かしていくことができるようになるためには、様々な経験を重ねていくことが必要かもしれません。違いや差から自分にはないものを吸収して、時には力を合わせていく経験ができる場として、学校は一層、大切な場となると考えています。

年の初めにあって、学校が担うことや家庭・地域の皆様と取り組んでいくことを改めて考えていきたいです。地域の皆様、保護者の皆様、本年もご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。